

## ブロイラー後期飼料の給与方法と発育に関する試験 (2)

誌名	静岡県養鶏試験場研究報告
ISSN	03892794
巻/号	17
掲載ページ	p. 57-59
発行年月	1982年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



## ブロイラー後期飼料の給与方法と発育に関する試験(第二報)

石川幸市・椎原 隆・加藤昭三郎・伊藤憲作

ブロイラーの大型化にともない雄と雌の発育差がますます大きくなってきていることから、後期飼料の栄養水準について検討の必要がある。前回はCP18%・ME3,030 kcal/Kgの飼料とCP16%・ME2,800 kcal/Kgの後期飼料について比較したところ、育成率と発育に差がみられなかったものの、CP16%・ME2,800 kcal/Kgの飼料を給与した鶏は飼料摂取量が増加し、飼料要求率が低下する傾向があった。そのため今回はME水準を対照飼料と同一にし、CP水準だけ低下させた飼料について検討した。

### 方 法

試験区分は表1のとおりである。すなわち、1981年6月13日え付のブロイラー専用種(スターブロー)、雄308羽、雌302羽をそれぞれ2区分し、更に試験区内は4区画に仕切り、性別に二つの繰返しを設けた。対照区の飼料はCP18%・ME3,030 kcal/Kgとし、試験区の飼料はCP16%・ME3,030 kcal/Kgとした。なお、育すう前期用の飼料は両区共通でCP22%・ME3,030kcal/Kgのものを給与した。

表1. 試験区分

試験区分	供試羽数	処 理
対照区	♂ 154	前期飼料(CP22、ME3,030)0~3週齢まで給与 後期“(CP18、ME3,030)3~9週齢まで給与
	♀ 150	
試験区	♂ 154	前期飼料(同上) 後期“(CP16、ME3,030)3~9週齢まで給与
	♀ 152	

試験期間は1981年6月13日より、8月15日までの63日間としたが、成績のとりまとめは22日齢より63日齢までとした。鶏舎は開放型平飼い鶏舎とし、収容密度はm<sup>2</sup>当り10.5羽、一群の大きさは75~77羽である。また、育すうはプロバングス用傘型育すう器を用い、10日間で廃温し、それ以降、室温下で

飼育した。また、飼料の給与はホッパーを用いて不断給与した。ワクチネーションは鶏病研究会で示されたプログラムによって行なった。

また、腹部脂肪の調査は各区とも性別に14羽ずつ解体し、腹部についての脂肪を測定した。

結果及び考察

発育成績は表2に示したとおりである。すなわち、育成率は対照区に比し試験区がわずかに良い傾向を示した。9週齢体重及び増体量は対照区に比し、試験区がわずかに劣る傾向を示した。一方、飼料摂取量は試験区の方がわずかに増加した。そのため飼料要求率は試験区の方が低下する傾向を示した。生体に対する腹部脂肪の割合は表3に示したとおりで、対照区に比し試験区の方がわずかに高い傾向を示した。また、増体量、飼料摂取量、腹部脂肪割合等、これらの項目は性別によってとくに異った傾向がみら

れなかった。なお、これらの項目はいずれも統計的有意差がみられなかった。

以上のようにCP水準の低い試験区の飼料は対照区の飼料とほぼ同等の成績を示す価値があるものと考えられる。しかし、わずかに飼料摂取量を増加させて、栄養を補う傾向がうかがえ、このことはCP 1.6%・ME 2,800 kcal/Kgの飼料で試験した前回の成績と程度が小さいものの同様の傾向である。また、今回の試験飼料はCP水準が低く、ME水準が高いために、飼料摂取量を増加させて栄養を補うようになると、腹部脂肪が付きやすくなるとも考えられる。したがってCP・MEのバランスについて、更に検討していく必要があるものと考えられる。

表2. 発 育 成 績

試験区分	育 成 率	9週齢体重	増 体 量	飼料摂取量	飼料要求率
	%	g	g	g	%
対 照 区	91.6	2,871.6	2,240.1	5,491.7	2.45
♀	94.7	2,424.0	1,847.6	4,703.2	2.55
平均	93.2	2,647.8	2,043.9	5,097.5	2.50
試 験 区	93.5	2,807.4	2,176.0	5,646.0	2.60
♀	97.4	2,368.8	1,794.5	4,705.8	2.58
平均	95.5	2,588.1	1,985.3	5,175.9	2.59

表3. 生体重に対する腹部脂肪の割合

試験区分	脂肪割合	1羽当り脂肪重量	平均体重
	%	g	g
対 照 区	3.1	92.4	2,963.6
♀	4.0	100.9	2,548.6
平均	3.6	96.7	2,756.1
試 験 区	3.4	106.5	3,193.6
♀	4.2	103.5	2,484.3
平均	3.8	105.0	2,839.0

## 要 約

ブロイラー後期飼料の栄養水準の違いが発育に及ぼす影響を検討するため、CP18%・ME3,030 kcal/Kgの飼料とCP16%・ME3,030 kcal/Kgの飼料を比較して次のことを得た。

1. 育成率、9週齢体重及び増体重にほとんど差がみられなかったが、CP水準の低い飼料は飼料摂取量がわずかに増加し、飼料要求率は低下する傾向であった。また、これらについて性別による違いはとくにみられなかった。

2. 生体に対する腹部脂肪の割合はCP水準の低い飼料の方が増加する傾向がうかがえた。そのため、CP・MEバランスについて更に検討の必要がある。

## 文 献

1) 勝山建郎・戸塚金男・榛葉逸瑛・米倉久雄、ブロイラーの後期飼料の給与方法と発育に関する試験(第1報)、静鶏試研報、69、16、1981。